

# 令和4年度 第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑一覧表

## ①国立公園満喫プロジェクト

質問事項等	回答
ワーケーション機能を備えた宿泊施設が市街地地区にできたとありますが、市の補助の対象は奥瀬又は法量に所在する施設となっています。この市街地の宿泊施設は補助を受けられなかったということですか。	市の補助対象ではありませんが、経済産業省の補助を活用したと伺っています。
施設に対する補助となっていますが、県民割のように利用する方の地域によってなにか違ったりしますか。どの地域から来ても1名は1名ですか。	施設への補助のため、どの地区からということとは関係なく補助しています。

## ②中心市街地活性化計画

質問事項等	回答
中心市街地活性化の目標②に記載している、「快適な生活環境の形成」についてどのように進めるつもりかお聞かせください。	中心市街地エリアに交通拠点を整備したほか、今後、市営住宅を整備するなどにより、生活環境の形成を図ります。
空き店舗もあるため、草が多いところがあり、町内会活動で草取りをしました。市民が住みやすい環境であることはもちろんですが、観光客などに「十和田は良いところだな、綺麗なところだな」と思ってもらえるように管理してもらいたいです。	道路管理者等と調整してまいりたいと考えています。

## ③妊娠期からの切れ目のない子育て支援

質問事項等	回答
とわだde子育て応援ギフト券給付事業について、物価の上昇等に伴い、今後、金額の増額等は予定していますか。	本事業は令和3年～令和5年の事業のため、その後の対応を検討する際の参考とさせていただきます。
妊婦との交流方法として、SNSの活用についてどう考えていますか。	「顔の見える関係づくり」を重視しており、妊娠期から出産後まで同一の助産師が対応しています。この関係性を大事にしながら、必要に応じてSNSの活用も検討したいと考えています。
若年層の妊婦は情報が少なく、母子手帳をもらうことなく妊娠期が進んでいくこともあると思いますが、そこへの対応はどうしていますか。	母子保健係において思春期の生徒を含む若い人たちにに向けた取組を行っており、今後、この内容を充実させたいと考えています。

#### ④健康診査の推進

質問事項等	回答
<p>肝炎のワクチンは無料ですか。</p>	<p>肝炎ウイルスの検査は、令和元年度から無料となっています。ワクチンについては、子どもには接種を実施していますが、大人の接種は実施していません。</p>
<p>肝炎ウイルスの検査数はどのくらいですか。</p>	<p>令和3年度は865人、令和2年度は1792人となっています。無料化する前は年間100人程度の検査だったので、無料化により検査数が大きく伸びています。</p>
<p>受診率の推移について、大腸がんは市の取組もあり伸びてきていますが、他のがん検査の受診率の向上に向けてどのような取組を検討していますか。</p>	<p>大腸がん検査は、検査自体が簡単で今回説明したような方法で推進することができましたが、他のがん検査はレントゲンを撮る必要があるなどにより、勧奨は続けているものの受診率は横ばいの状態が続いています。今後もこれまでの勧奨を続けるとともに、新たな方法についても検討したいと考えています。</p>

#### ⑤緊急通報体制等整備

質問事項等	回答
<p>①高齢者見守り支援制度のモニターとなった方たちの介護度はどれくらいですか。 ②なぜその人たちを選びましたか。</p>	<p>①10人中9人は自立している方、1人は軽度の介護を受けていた方でした。</p> <p><b>【訂正】</b> 確認したところ、すべての方が介護認定を受けていませんでした。</p> <p><b>【補足説明】</b> 既に介護度がついている方は概ねサービス事業者やケアマネジャーによる家族以外の見守りがある状態といえることから、モニター対象は70歳以上の一人暮らし高齢者で、離れて暮らす家族がいる方とし、定期的な見守りのない介護サービス未利用者としてしました。</p> <p>②ロボットの前での操作が必要となるため、ある程度自立している方に参加していただきました。</p>
<p>ロボット導入の実証実験の結果、「委託事業者が令和6年度末で事業を終了する」とのことですが、理由は分かりますか。</p>	<p>今回導入したロボットは簡単な会話はできませんが、AI機能が入っていないこと、また、他社でAI機能を搭載したロボットを開発した影響もあるものと考えています。</p>

## ⑥移住・交流への支援体制の強化

質問事項等	回答														
<p><b>【追加質問】</b></p> <p>資料19ページ（2）制度を活用した移住者数の分析</p> <p>①移住支援金など資金的な支援は重複して受けられるのか。</p> <p>②利用割合のグラフで、濃い緑と赤は何を指すのか。また、人数比か世帯数比か。</p> <p>③移住者数のグラフで世帯数別の数値はわかるか。</p>	<p>①政策財政課において実施している支援は併用可能です。ただし、住宅取得等支援事業補助金については、結婚新生活支援事業補助金のうち、住宅取得費用に関する交付の決定を受け、又は受ける見込みである場合は、その額を控除します。</p> <p>②濃い緑は「引越し支援」、赤は「移住支援金」、利用割合は世帯数比です。</p> <p>③年度 世帯数（県内／県外）</p> <table border="0"> <tr> <td>H27</td> <td>14世帯（13／1）</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>23世帯（6／17）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>45世帯（18／27）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>38世帯（22／16）</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>46世帯（30／16）</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>57世帯（32／25）</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>84世帯（46／38）</td> </tr> </table>	H27	14世帯（13／1）	H28	23世帯（6／17）	H29	45世帯（18／27）	H30	38世帯（22／16）	R01	46世帯（30／16）	R02	57世帯（32／25）	R03	84世帯（46／38）
H27	14世帯（13／1）														
H28	23世帯（6／17）														
H29	45世帯（18／27）														
H30	38世帯（22／16）														
R01	46世帯（30／16）														
R02	57世帯（32／25）														
R03	84世帯（46／38）														
<p>制度を利用した方たちの中で、市に対する苦情等は寄せられていますか。また、町内会や老人クラブへの加入を促していますか。</p>	<p>制度利用者を対象としたアンケートや意見交換会などを実施していますが、特に苦情や改善を求める声はありません。</p> <p>制度の中には、町内会への加入を条件としているものもあります。また、移住に関する相談を受けた際には、コミュニティ活動に参加するように促しています。</p>														

## ⑦公共交通の維持・確保

質問事項等	回答
<p>市の財政も厳しいこともわかりますが、バスがあるところの人たちへの対策だけでなく、バスがないような人たちへの対策を考えていただきたい。</p>	<p>令和5年度からの公共交通計画を策定するにあたり、高校生から高齢者まで、各世代に応じたアンケートを実施するほか、市内5地区の広域コミュニティで意見交換会を計画しています。</p> <p>すぐに解決できるわけではありませんが、このような取組を通じて、公共交通のない地域での対応も検討したいと考えています。</p>
<p>公共交通が脆弱な地域に予約制乗合タクシー等を実施していますが、利用者が減ってきている理由をどのように分析していますか。</p>	<p>去年、一昨年に関してはコロナの影響により外出や受診を控えたことなどが理由の一つであると考えています。</p>